

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年12月6日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677500110
法人名	社会福祉法人 恵仁会
事業所名	グループホーム あいら
所在地	鹿児島県鹿屋市吾平町上名5324-2 (電話) 0994-58-5539
自己評価作成日	平成26年10月20日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年11月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は開設して14年目になりました。
 理念・・・「黒羽子地区で、春夏秋冬感じながら共に楽しく過ごしましょう。」
 「美味しい物を美味しく食べて、楽しい時は一緒に笑い、悲しい気持ちを分け合えられるそんな家族を目指します」・・・
 この理念の下、利用者様の生活の質の向上を高める為に取り組んでいます。
 季節感を感じる事が出来る様な行事を、計画して懐かしく思い出して頂いたり、参加する事で充実感を得られる様に支援しています。
 地域交流にも力を入れています。朝晩の挨拶から始まり、地域の行事に参加したり、奉仕作業にはお茶を出したり、9月には夏祭りを開催して地域の方々や家族を招いて交流しています。
 利用者様の体調管理は、体調不良の早期発見に努め、入院の無いように心掛けています。週1回の訪問看護、1日おきの訪問診察の際、報告、相談しています。

- ・ホームは、旧吾平町郊外の黒羽地区に位置し、緑豊かな自然の中にあり鳥のさえずりや季節の移り変わりを肌で感じることができる。太陽光発電などの設備が整えられ、全室床暖房である。玄関前庭にベンチや自動販売機が設置してあり、地域の方々を訪ねて来られ、利用者や職員と会話したり、介護の相談を受けるなど地域との交流の場になっている。
- ・理念は、“生まれ育った地域で季節を感じながら楽しく過ごしたり、美味しく食事を楽しみ共に笑うなど気持ちを分かち合えるそんなホームを目指す”といった地域密着型を意識したものになっている。
- ・地域とは、清掃活動、地域やホームの行事への参加を通じて交流を深めている。また、運営推進会議の中でも地域交流について話し合っており、防災訓練にも協力や理解を求めヘルメットにライトをつけるなど改善に繋がっている。
- ・かかりつけ医や協力医療機関との連携や体制が確保され、訪問看護や認知症専門医の訪問がある。また、重度化した場合や看取りについての指針を説明するとともに情報を共有して対応するなど実際に看取りの事例もある。入浴介助についても職員全員で話し合い、今年中には、浴室用のリフト導入を予定しており、安心安全な入浴の実現に向けて取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を各ユニットに掲示していつでも確認して、実践するためにどうしたら良いかを考えて、実践に努めている。	理念は、玄関、共有スペースなどに掲示され、毎年4月の推進会議や家族会などで、理念に沿った年度の目標を立て家族とも共有するよう取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の一員として日頃から挨拶を交わし、ホーム前をきれいにしたりしている。買い物は地域の店を利用している。	地域とは、年4回の清掃活動への参加やホームの玄関先でお茶のみ会をしたり、介護の相談を受けたりして交流している。また、野菜の差し入れがあったり、食材は地域の業者に注文するなどしてお付き合いし、地域やホームの行事への参加などで日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	道路沿いに掲示板を設置して、日頃の様子やお知らせ、研修会、セミナーの案内をしている。又、いつでも困った時には相談して頂ける様、行事などの集まりの時、案内している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に会議を開催し、状況報告、アクシデント報告、外部評価報告、地域交流について話し合っている。又、防災訓練も一緒にしている。	会議は定例化され、地域や家族の参加も協力的であり、感染症や認知症の勉強会を取り入れるなど、知識研鑽を図っている。また、職員には議事録にて情報を共有し、サービス向上に向けてミーティングで話し合っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事故報告や情報提供など速やかに行っている。	市担当者とは、メールでのやりとりも増えたが、面談や電話などで連絡や相談、報告など柔軟に取り組んでいる。また、ホームは災害時の避難場所に指定されるなど市の要請にも応え地域住民の安全確保と協力関係を構築している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月のミーティングにて身体拘束をしないケアについて話し合い、拘束しないケアに取り組んでいる。	施錠をしない自由な暮らしを実践しているホームである。外出傾向の方がおられるが、本人の主体性に任せ安心して生活ができるよう寄り添い、コミュニケーション活動に努めている。毎月のミーティングでは、身体拘束の弊害について職員全員で話し合い、勉強会を行なっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会や研修会に参加して高齢者虐待について学び、虐待につながる様な不適切なケアの無いように心掛けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会や研修会に参加して権利擁護について学んでいる。成年後見制度については、各利用者の必要性を見極めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所時は家族、利用者に説明をしっかりと行い、納得して頂いている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>普段から積極的に、状態の報告や状況報告を行い、意見や要望を伺う様にしている。家族会では、職員との茶話会を開き、交流した。</p>	<p>本人、家族には、日頃から意見や要望などが出しやすいような雰囲気作りに力を入れている。年1回、家族向けのアンケートを実施し、出された意見をサービスやケアの見直しに繋げている。また、年2回の家族会では、職員と茶話会を開き直接対話する機会を設け、忌憚なく意見交換している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>年度初めに重要事項や運営規定について説明している。年2回、自己評価をして、要望を聞いている。又、ミーティングにて意見交換している。</p>	<p>法人には、人事考課システムがあり年2回自己評価し、管理者は個別面談をして職員から意見や提案を聞く機会を作っている。また、個人面談後ミーティングにて職員全員で話し合い、職員の勤務体系の見直しに繋げた事例もある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員自身の自己評価や管理者から見た職員の努力や実績を評価している。目的を各自設定して半年ごとに振り返っている。精神的、身体的負担の無いように勤務調整している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>勉強会を法人内で月1回行っている。自主参加や必須参加があり外部の研修にも個人に合わせて参加させている。資格取得の為に勉強会も実施している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に加入して、研修参加や他事業所との意見交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用に際して、利用者様からしっかり聞き取りをして思いを受け止めるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用に際して、家族からしっかり聞き取りをして思いを受け止めるようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>困っている事を伺い、必要としている支援を見極めて、相談窓口の紹介やサービス内容の説明を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の気持ちや残存機能に合わせて、得意な事を出来る時に出来るだけ、一緒に行う様に支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の想いや日頃の様子を伝え、家族の想いを聞き、一緒に支えあう様にしている。受診時は協力して頂いたりしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブ等で自宅付近を訪問して、馴染みの人との出会いの機会を得ている。かかりつけ医への受診も出会いの機会となっている。	利用者は、地元の方が大多数であるが、毎月息子さんと自宅に帰られる方や墓参りされる方がいる。また、ボランティアの方に踊りを披露してもらったりして交流、家族や友人に電話をかけたたり、年賀状にて関係性が継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う人、合わない人等の関係性を見極め、トラブルや孤立の無いように支援している。又お互いを思いやる気持ちを持って頂く様に、病気への理解をお願いしたりしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設へ移られた方へのお見舞いや様子伺いの訪問を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の気持ちや思いを言葉やしぐさ、表情など日々の関わりの中から探る様にして本人本位の検討を行っている。	意思を表出しにくい方には、表情、しぐさ、言葉などで気持ちを汲み取り、家族に聞き取り、職員間で話し合い本人がどうしたいか、どう暮らしたいかなど本人主体に検討し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族様より聞き取りをして把握に努めている。他施設からの入居の際は施設からも情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の生活のリズムやペースに合わせて、過ごし方や有する力の把握を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の意向を聴き、本人の現状を把握した上で課題やケアの在り方について検討している。又、職員の意見も毎月、モニタリングしてそれらを反映して介護計画を作成している。	アセスメント、課題分析、モニタリングで振り返りの機会を持ち、モニタリングは毎月実施、カンファレンスなどで職員全員で話し合い、プランの見直しなど柔軟に取り組んでいる。家族には、会議へ参加を依頼し説明した上で、同意をいただき配布している。また、居室に介護計画ファイルを備えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子やケアの実践・結果や気づきなどを個別記録に記入している。朝夕の申し送りなどで情報共有して介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>主治医・訪問看護師・協力医療機関と連携を図り、医療のサービスに繋いでいる。家族に外出支援や同行のお願いをしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域婦人部との交流や中学生の福祉体験など受け入れている。近くの公園や物産館・観光農園など利用している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族の希望を大切にしてかかりつけ医の受診を支援している。受診困難となった時には訪問診察して頂いている。週1回の訪問看護との連携で早めの対応が出来る。</p>	<p>本人、家族が希望するかかりつけ医となっている。重度化するにつれて、訪問診療はもちろんのこと、訪問看護との連携、認知症専門医の訪問もあり相談し指導を受けている。ホームは、特に“口腔ケア”に力を入れており、他科受診は職員が支援するなど柔軟に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日頃より体調チェックを行い、小さな気づきや変化を随時、訪問看護師に報告・相談して、指示を仰いでいる。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院中は、こまめに足を運び、病状の把握や病院関係者との情報交換を行い、なるべく早く退院できる様に支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に重度化や終末期の対応の指針について説明している。又、状況変化があった場合、再度、意思確認を行っている。訪問看護ステーションと24時間オンコール体制を取っていつでも相談出来る様になっている。</p>	<p>入所時に「重度化や終末期の対応指針」にて説明をおこない、段階に応じて本人、家族、医師、事業所を始め関係者間で話し合い、事業所ででき得る最大限のケア、方針について話し合っている。昨年12月、看取りの実績がある。訪問看護とは、24時間連絡や連携が取れるように体制が確保されており、チームケアでの支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年1回、必ず、緊急時の対応について学ぶ機会を持ち、全職員が参加している。救急時は救急隊へ情報提供カードを利用している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、総合消防訓練を行っている。そのうち1回は消防署立ち会いの下、地域の方々にも参加して頂いている。毎月15日を自主訓練の日と決めて、避難方法や経路、非常食の点検など行っている。</p>	<p>夜間想定消防訓練を含め年2回、定期的な訓練の実施と毎月15日は消防点検、通報のしかたを確認し、万一来に備えている。地域の方の中には、消防団の方もいて協力体制もある。また、避難確認は、部屋の表札を裏返すなど工夫している。市は、徘徊模擬訓練を実施し行方不明者の情報提供は、有線放送でおこなっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の聞こえや理解度に応じてプライバシーに配慮しながら、言葉かけを行っている。特に命令口調にならない様に心掛けている。	年長者であることや人生の先輩である利用者であるので、失礼にならないよう言葉の使い方に慎重に馴れ合いになることがないように注意している。勉強会では、接遇マナーと同時にプライバシーの確保についても職員間で知識を習得し、自己研鑽し誇りやプライバシーを損ねることがないような対応を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	なるべく自己決定が出来る様に複数の選択肢を並べたり、表せない方には、表情や行動から読み取る様にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかに1日の流れはあるが、その方の体調やペースに合わせて、生活の支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その方の好みの物・清潔な衣類を着て頂いている。2か月に1回訪問理容を利用して髪を整えている。		
40	15	○食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々に合わせて、職員と共に食事を作ったり、準備・片付けしている。餅つきやそば打ち、ちまき作り等季節の行事食と一緒に作って楽しみとして頂いている。	献立は、その日の職員が利用者と話し合っ決めて決めている。家族や地域の方からの野菜の差し入れも多く、梅ジャム、らっきょう漬けを作ったり、餅つき、そば打ちなど楽しんでいる。また、包丁で葱を切る、皮むきなど手伝いされる方もあり、ドライブがてら外食や弁当を楽しんだりもしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べられる量や好み、嚥下状態など個々に合わせて提供している。又、水分摂取して頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個々に合わせて口腔ケアを行っている。定期的に義歯や歯ブラシ・コップなども消毒している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	なるべくトイレでの排泄を促す為に、随時トイレに誘導している。寝たきりの方でもトイレでの排便を促す様している。	排泄誘導の声かけは、利用者にあった声かけを心がけている。ポータブル使用者は少なく、ほとんどの方がトイレで排泄されているが、居室での転倒防止のためすべり止めマット、鈴の活用、ベットの位置を変更するなど環境整備している。既存のトイレはすでに介助しやすいよう改修され、排泄の自立が図られている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘による不穏症状を理解し、なるべくトイレでの排泄を促している。又、チェック表にて把握して、食事の工夫や水分摂取を心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	その日の体調に合わせて、入浴の希望に合わせている。重度化により、シャワー浴のみの方もある。冬季は湯冷めのない様に支援している。	利用者の重度化が進み介助量が増大してきているため、来月中には浴室用リフトを導入予定である。入浴は、午後から実施され体調を崩すことがないように温度管理にも注意し、異性介助にも配慮するなど入浴を楽しんでもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調やペースに合わせて休息して頂いている。又、安眠の為に毎日15分間位の日光浴を行っている。個々に合わせて活動の促しもしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診記録簿に処方薬の説明書を添付していつでも見られるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	新聞紙を利用したゴミ箱づくりや野菜の下ごしらえ、皮むき、洗濯物干し、洗濯物たたみ、散歩、歌の披露などその方の力を借りて役割を持って頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣の散歩や日光浴を毎日行っている。1日遠足や観光農園への外出など家族の協力を頂きながら支援している。家族の協力ですべて、外出に出掛けている方もある。	近隣を散歩したり、ホームの庭先での日光浴が習慣化しており、地域の方々とも交流することができるように支援している。毎年、観光農園に出かけぶどうやイチゴ狩りを楽しんだり、1日遠足を実施して外出を継続している。日常は、近隣の店に買い物に行くなど地域住民との関係性にも配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>殆どの方がお金の所持はされていない。所持されて買い物をされている方もいる。</p>			
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>いつでも電話できる様に支援している。</p>			
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>花壇には季節の花や野菜を植えてベンチを置き、廊下にはソファを置き、壁には写真を飾り休憩しながら楽しんで頂いている。畳スペースではレクリエーションや座位訓練を行ったり、音楽を聴いて頂いたりしている。</p>	<p>それぞれのユニットの行き来がスムーズにできるよう屋外の通路で繋がっている。玄関前庭にはベンチが設置されており、地域の方々も気軽に訪ねて来られる。木のぬくもりを存分に感じる住環境で、床暖房になっており玄関ホールには、畳スペースがありボランティア活動の舞台にも活用されている。また、天井が高く高窓は排煙機能があり、廊下も広くソファがあり、居心地よく思い思いに過ごせるよう工夫している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>各共有スペースに椅子を置いて、いつでもゆっくりと過ごせるようにしている。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居の際に馴染みの物を持ち込んで頂いて好みの物を飾ったりしている。又、移動の妨げにならない様に家具の配置をしたりしている。</p>	<p>居室には、テレビ、整理タンス、位牌、家族写真など馴染みの物を持ち込み、居心地よく過ごせる工夫がされている。クローゼットには大容量の収納が可能、転倒防止を図るため家具の配置を工夫している。冬場は、床暖房なので暖かく過ごせており、また、室温などの温度管理もしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレの場所が分かる様に大きな赤い矢印やトイレと表示している。又、全体的にバリアフリーとなって移動の動線には手すりを付けている。廊下は車椅子が通行しやすい様にあまり物を置かない様にしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない